問 終活事業の今後の展開は

町長 需要に応じて進める



泉（いずみ） 愉美（ゆみ） 議員

もう痩せない
現状維持で
良しとする

終身サポートの拡充

問 終身サポートにはさまざまなメニューがあり、本町でも日常生活支援や見守りサービスを実施している。未実施の身元保証や財産管理などについて必要性をどう認識しているか。

町長 必要とは思うが町ではなかなかできないサービスである。

問 町には民間事業者やNPO法人などのサポート体制はあるか。

町長 町内にはないが北見市には数か所ある。

問 事業の拡充が必要と考えるが、社会福祉協議会や包括支援センター、ボランティアなどの協力を得て、新たな支援につなげていくことは可能か。

町長 体制的な課題があり、すぐには難しいがゆくゆくは社会福祉協議会などにお願いすることになると思う。

成年後見人制度

問 終身サポートには財産管理も含まれるが、広域の成年後見中核センターで行われている町民後見人養成講座を受講して町民後見人となっている方はいるのか。

町長 ここ3年で5人が養成講座を受講し、実際に担当している方がいる。

終活のアドバイス

問 終活に関する窓口はどこか。また、終活に関する取り組みはしているか。

町長 窓口は包括支援センターで話を聞くことになる。これまでに「人生会議」のなかで終活の話し合いをしてきた。

問 町オリジナルのエンディングノートを配布する考えはないか。

町長 緊急連絡先やかかりつけ医などを記しておくことも含めて、他町の取り組みを参考にしながら考えていく。



孤独死の対応

問 これまで身寄りのない方の孤独死が発覚した場合どのように対応してきたか。

町長 まず職員が駆けつけ親族を探すが、見つからない場合は行旅（こうりょ）死亡人扱いで火葬する。

後に遺族が見つかり引き取ってもらったケースもある。

死後事務サービスの必要性

問 納骨や遺品整理、財産処分などの心配もあるが、葬儀会社などに委託するシステム作りが必要ではないか。

町長 遺品整理の資格を持つ方が町内にいる。

葬儀会社と相談したことはないが、必要となれば検討する。

今後の展望

問 自治体による終活支援は無料や低価格で、誰でも頼りやすいのが利点である。需要が高まるであろう終身サポートと終活支援を今後どのように展開していく必要があるか。

町長 需要を把握し、必要に応じて進めたい。

泉議員の一般質問を視聴できます